



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東  
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆丈  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-0580  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,830	5.2	474	110.0	451	80.1	199	14.8
28年3月期第1四半期	3,642	30.5	226	—	250	—	173	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 169百万円(△43.0%) 28年3月期第1四半期 297百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.06	13.81
28年3月期第1四半期	13.61	12.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,176	6,969	27.8
28年3月期	18,833	6,863	26.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 5,055百万円 28年3月期 5,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	13,800	△2.3	650	44.8	500	44.6	220	△29.7	16.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	14,189,100株	28年3月期	14,142,600株
29年3月期1Q	917,675株	28年3月期	917,675株
29年3月期1Q	13,225,947株	28年3月期1Q	12,755,395株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境などについては底堅さが見られる一方で、設備投資や消費マインドは低迷が続いております。消費増税再延期表明により更なる悪化は回避できたかに見えたものの、イギリスのEU離脱という国民投票の結果を受け、グローバル金融市場は混乱し、先行き不透明感はより一層増大しております。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズは底堅いものがあります。しかしながら、人件費をはじめとする諸コストの増大など厳しい経営環境が続いております。更に、東京オリンピック開催を控え未だ建設費は高止まりしており、顧客満足度向上のための改装・改築を含む各種設備投資にかかるコストも増大傾向にあります。お客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力がより一層求められております。

このような状況の中、当社グループは、国内においては既存店の浜松佐鳴台店（静岡県）を新しいコンセプトに基づき「RAKU SPA Cafe 浜松」として8月上旬にリニューアルオープンする予定です。今後も新規出店及び既存店のリニューアルにも積極的に取り組んでまいります。また、海外においては中国武漢市に海外3店舗目となる直営店の出店に加えて、中国でのFC展開の準備を進めております。引き続き、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを国内外で提供すべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,830百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は474百万円（前年同期比110.0%増）、経常利益は451百万円（前年同期比80.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は199百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高2,508百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は104百万円（前年同期セグメント損失9百万円）となりました。

当社の業績は、家族や人が集まるお盆や年末年始等の休暇に加え、台風・ゲリラ豪雨・猛暑・大雪等、季節的要因により変動する傾向があります。また、第1四半期（4月～6月）は、通期でみると例年収益状況が厳しい時期であります。

当第1四半期の累計期間（4月～6月）の業績は、前期に実施した様々な施策による効果を維持できたことに加え、天候にも恵まれたことで既存店客数は前年同期に比べ増加いたしました。さらに、お客様のニーズを捉えた積極的かつ効果的な施策を実施したことで改装等を行った店舗を除く既存店の売上高は増加しました。また、エネルギーコストの低位安定に加え、コスト意識の徹底による生産性向上に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は大幅に改善いたしました。

#### ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,342百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益（営業利益）は424百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

当社グループの中国における業績も国内と同様に季節的要因による変動があり、通期でみると第1四半期（1月～3月）は気温が低く大型連休となる春節（旧正月）もあるため収益が最も期待できる時期であります。

当第1四半期の累計期間（1月～3月）の業績は、平成27年2月に中国上海市にオープンした海外2号店「極楽湯金沙江温泉館」が、フルに売上に寄与したこと、また1号店「極楽湯碧雲温泉館」との相乗効果もあり冬季の大盛況の勢いを継続できたことから、売上は大幅に増加いたしました。また、当第1四半期の期間において新規出店はなく、出店に伴う一時的な出店費用が発生しなかったことから収益面でも大幅に改善しました。その結果、当第1四半期の累計期間（1月～3月）のセグメント利益（営業利益）は、424百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ657百万円減少し18,176百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済に伴う現金及び預金が540百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ764百万円減少し11,206百万円となりました。これは主に、短期借入金800百万円、未払金が347百万円、前受金が155百万円減少し、海外3号店の設備資金の調達により長期借入金が786百万円増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し6,969百万円となりました。これは主に、利益剰余金が119百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、27.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り順調に推移しております。しかしながら、中国においては季節的変動による収益減少や株価下落（上海株式市場）を起因とする景気の冷え込み等不透明な状況があり、国内においては今後も既存店の改装計画等があることから、平成28年5月13日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

平成29年3月期第2四半期の連結業績予想につきましても、上記のとおり、当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、未定としております。今後、慎重に精査した上で数値がまとまり次第、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,766,334	5,226,249
売掛金	166,364	107,319
未収入金	12,984	7,529
たな卸資産	77,279	66,403
繰延税金資産	67,066	37,521
その他	203,858	275,989
流動資産合計	6,293,887	5,721,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,233,770	8,888,313
工具、器具及び備品(純額)	675,707	636,504
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	49,511	211,962
有形固定資産合計	10,141,040	9,918,831
無形固定資産		
無形固定資産	279,713	265,234
投資その他の資産		
投資有価証券	29,020	28,955
長期貸付金	59,441	54,647
繰延税金資産	444,974	443,779
敷金及び保証金	868,636	1,017,028
その他	606,197	592,049
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	2,003,771	2,131,959
固定資産合計	12,424,525	12,316,025
繰延資産	115,127	138,996
資産合計	18,833,540	18,176,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	419,407	295,334
短期借入金	800,000	-
1年内償還予定の社債	49,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	1,675,760	1,550,598
未払金	813,806	466,207
未払法人税等	62,175	111,367
前受金	1,041,694	886,084
賞与引当金	29,265	57,153
その他	609,178	442,936
流動負債合計	5,500,288	3,858,682
固定負債		
社債	178,500	178,500
長期借入金	5,299,930	6,211,510
退職給付に係る負債	108,288	111,590
資産除去債務	458,076	459,684
その他	425,274	386,275
固定負債合計	6,470,068	7,347,560
負債合計	11,970,356	11,206,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,412,602	2,419,579
資本剰余金	2,373,382	2,380,359
利益剰余金	358,125	477,946
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	4,787,971	4,921,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△929	△994
為替換算調整勘定	214,891	134,803
その他の包括利益累計額合計	213,961	133,808
新株予約権	72,829	75,394
非支配株主持分	1,788,420	1,838,841
純資産合計	6,863,183	6,969,792
負債純資産合計	18,833,540	18,176,034

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,642,850	3,830,686
売上原価	3,123,193	3,059,021
売上総利益	519,656	771,664
販売費及び一般管理費	293,568	296,847
営業利益	226,088	474,817
営業外収益		
受取利息	3,875	3,531
受取家賃	5,032	4,649
為替差益	15,907	-
デリバティブ評価益	-	24,417
協賛金収入	20,574	4,833
その他	13,763	8,461
営業外収益合計	59,153	45,893
営業外費用		
支払利息	25,370	25,761
為替差損	-	34,127
シンジケートローン手数料	-	1,000
その他	9,467	8,813
営業外費用合計	34,838	69,701
経常利益	250,403	451,008
特別利益		
固定資産売却益	77,362	-
人事制度変更に伴う利益	22,602	-
新株予約権戻入益	3,431	4,392
資産除去債務戻入益	22,163	-
特別利益合計	125,559	4,392
特別損失		
固定資産除却損	2,555	0
契約解約損	3,950	-
特別損失合計	6,506	0
税金等調整前四半期純利益	369,456	455,400
法人税、住民税及び事業税	78,922	87,474
法人税等調整額	4,253	28,384
法人税等合計	83,175	115,858
四半期純利益	286,280	339,542
非支配株主に帰属する四半期純利益	112,719	140,371
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,561	199,171



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	286,280	339,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	920	△65
為替換算調整勘定	10,106	△170,038
その他の包括利益合計	11,026	△170,103
四半期包括利益	297,306	169,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,635	119,018
非支配株主に係る四半期包括利益	117,671	50,420

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,520,758	1,122,091	3,642,850	—	3,642,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,856	—	16,856	△16,856	—
計	2,537,615	1,122,091	3,659,707	△16,856	3,642,850
セグメント利益又は損失(△)	△9,155	274,517	265,361	△39,273	226,088

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△39,273千円は、セグメント間取引消去17,374千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,647千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成27年1月1日から平成27年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,487,712	1,342,974	3,830,686	—	3,830,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,450	—	20,450	△20,450	—
計	2,508,162	1,342,974	3,851,136	△20,450	3,830,686
セグメント利益	104,524	424,179	528,703	△53,886	474,817

(注) 1 セグメント利益の調整額△53,886千円は、セグメント間取引消去1,570千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,456千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。